

令和5年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
米田 信也 議 員	1 喜界馬復活・活用プロジェクト事業について	(1) 喜界馬復活・活用プロジェクト事業の進捗状況と今後の予定について伺う。	町 長
	2 スズメバチについて	(1) スズメバチの調査、駆除について来年の繁殖期までの活動について伺う。	
	3 ジオパーク推進事業について	(1) ジオパーク推進事業の進捗状況と以降の認定にむけた取り組み及びイベント活動について伺う。	
	4 堆肥センターについて	(1) 堆肥センター建設事業の進捗状況、及び今後の取り組みについて伺う。	
	5 最終処分場について	(1) 最終処分場工事の進捗状況について伺う。□ □	
生駒 弘 議 員	1 海釣り公園について	(1) 沖防波堤を利用した海釣り公園は出来ないか。	町 長
	2 開発組合の堆肥について	(1) 開発組合が堆肥を作っている場所にコンクリートを敷くことはできないか。	
生島 常範 議 員	1 早朝船便利用者の交通手段について	9月議会では「出来るだけ早く解決しよう検討しているが、現状をお詫びしたい」とのことだった。まもなく海が時化する冬場を迎える。10月中旬開催された公共交通会議幹事会の中で前向きな案が協議されたと聞いた。 (1) この冬場には体制が整って欲しいが、町民に希望を与える為にもいつ頃状況改善が期待できるか伺う。	町 長
	2 島内公衆トイレについて	喜界島の知名度も上がり最近島外からの観光客の方も多 い。サンゴ礁台地の地形、蝶や植物、伝統文化等学術的価値も高く、来年はジオパーク登録を目指している。 (1) 来島者が安心して島内散策できるよう、看板設置や観光パンフ、喜界町ホームページ等で公衆トイレの場所をお知らせする事も必要だと思うが如何か。	
	3 堆肥センターについて	3月議会で「原料の牛ふんの量の変更により、生ごみの問題、雑木、生活環境の中の有機物、廃棄物も含めた取り組みも必要になるため、今後は農家のみでなく、区長、地女連等町民の代表を含めたより良い施設を目指す」とのことだった。 (1) 10月中旬、これまでの堆肥センター建設検討委員会を解散した。新たな検討委員会設立等今後の計画を伺う。	
	4 文化財継承・発展について	10月14日～15日、危機的状況にある言語・方言サミットが与那国島で開催され、昨年度の沖永良部知名大会同様、本町も担当者を派遣した。言葉以外に伝統文化の唄、踊り等の発表もあった。 (1) 今年の3月議会で「これまで開催した市町村の状況と主催の文化庁、国立国語研究所より必要な手順や方法、条件等収集し開催も視野に総合的に判断したい」とのことだった。今後の計画を伺う。 (2) 本町は文化財保護の推進・充実に努力している。今年の6月議会で言葉同様、危機的状況にある島内各集落の八月踊りの町指定文化財指定を要望したが、「文化財保護審議会に諮問して協議したい」との答弁だった。進捗を伺う。	
	5 青年団体の育成について	本町は「青年団体の育成を図るための地域の実情に応じた魅力ある活動内容等再検討・加入促進や団体活動の活性化」に努めている。 (1) 幾つかの集落で活動が盛んだ。住む地域に団体が無い若者も参加できる町青年連絡協議会もあるが活動休止中である。活動の充実に努めるための対策を伺う。	教育長

令和5年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 フェリー、航空便の長期欠航時の対策について	<p>(1) 本年は台風の影響で長期間フェリーが欠航し、航空便も運航できなかった。その間、町民生活は食料品や郵便物がストップし多大な影響を受けた。今後も温暖化に伴い公共交通機関がストップするなど長期の影響は避けられない。今シーズンの影響を伺う。</p> <p>① 商業施設で食料品が2日以上入荷しなかった期間。□</p> <p>② 同じく郵便物が2日以上届かなかった期間。□</p> <p>(2) 県や群島内自治体でも対策として、日版品や生鮮商品を事前確保するために冷蔵庫や発電機の確保が議論されている。本町でも関係団体、関係者による協議を開始したら如何か。</p> <p>(3) 地域災害だけでなく産業の育成、生業確保の観点からも本格的に地産地消の取り組みを強化すべきではないか。</p>	町長
	2 日米共同の軍事訓練について	<p>(1) この間の日米共同軍事訓練、自衛隊の行進訓練、通信所内での空砲訓練などが行われているが、島嶼の奪還訓練がメインである。奪還の前に、本来守るべき島民の本土等への避難訓練が欠落している。町民約、6,500名の避難についてはどこが責任を持つのか。軍事訓練の前に町民の避難について関係者で話し合うべきではないか。</p> <p>(2) 今後の自衛隊及び日米共同訓練の予定を伺う。</p>	町長
	3 マイナカード及びマイナ保険証について	<p>(1) マイナカードについて伺う。□</p> <p>① 本町のマイナカードの対象者数、交付者数、交付率及び国と県の交付率について伺う。</p> <p>② 未交付枚数（申請者が未引き取りで役場に滞留している枚数）。どのような対策を講じるのか。</p> <p>(2) マイナ保険証について伺う。</p> <p>① 本町医療機関、歯科医院でのマイナ保険証の利用件数、利用率。</p> <p>② トラブルや町民の苦情は寄せられていないか。</p> <p>③ マイナ保険証について本町は現行の保険証を来年秋に廃止するとの政府方針について、国民の不安を払拭してから進めるべきとの理由から現行保険証廃止を延期すべきとの立場であるが変更はないか。</p>	町長
	4 鳥獣害対策について	<p>(1) 野生シカの根絶に向けて</p> <p>① 今年度の月別捕獲数</p> <p>② この間の新たな施策である捕獲後の焼却処理、報償費の引き上げ等についての評価</p> <p>③ 今後に向けての根絶見込み及び対策</p> <p>(2) カラスの捕獲数と対策。</p> <p>① 今年度の月別捕獲数、地域（集落）別特徴。</p> <p>② 今後の対策。</p>	町長
	5 共同納骨堂の今後について	<p>(1) 検討委員会解散を受け、町の今後の中・長期計画を伺う。</p>	町長
	6 町政の今後について	<p>(1) 共同納骨堂、火葬場、堆肥センター、公共交通機関の在り方、教育機関や医療機関の質的向上、有事体制時の町民の安全・安心確保など重要課題が山積しています。町長はどのように関わっていかれますか。</p>	町長

令和5年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
土岐 和貴 議 員	1 子どもたちの教育について	<p>現在グローバル化が進んでおり、文化や価値観を背景とする人々の考え方も多様化してきている。経済の変化の中で人間の幸福と地域の発展の調和が今後の重要課題であるが、その中でも「食育の推進」や「文化活動の推進」は本町の未来を担う子どもたちの教育には必要不可欠だと考える。</p> <p>(1) 学校、家庭、地域の連携による食育とはどのような取り組みか。</p> <p>(2) 地産地消、伝統食の推進の中で成果と課題は。</p> <p>(3) 地場産食材使用率を上げていくために検討していることは。</p> <p>(4) 喜界島産食材の活用で、年々実績値も上がっていて令和4年度は953,187円と前年度に比べ、2倍以上の食材を活用しているが、子どもたちの意識は変わってきているのか。</p> <p>(5) 地産地消の大切さ、将来のための備蓄に対して地域住民も含めて子どもたちに伝えていくことは必要ではないか。</p> <p>(6) 自然に優しい有機栽培などで収穫した食材や無添加の調味料など、本町でも多くの団体や農家が作られている。オーガニック給食と地産地消の融合も食育に対して効果があるのではないか。</p> <p>(7) 体験活動を通して「生きる力」「自然の力」を伝えていくことも必要ではないか。</p>	教育長
	2 生涯学習環境の充実に向けて	<p>生涯を通して学び、活躍できる環境づくり、スポーツ、文化の振興は豊かな人生を歩んでいく中で重要な取り組みである。</p> <p>公民館講座や地域講座の充実、自主事業の推進など総合評価について伺う。</p> <p>(1) 公民館講座について令和4年度実績値(講座数：17、受講者200名)と令和2年度と比べると60名ほど減っているが、その原因は。</p> <p>(2) 若い世代の参加率を上げていくために行っていることは。</p> <p>(3) 講座講師の発掘や講師募集の周知はどのように行っているのか。</p> <p>(4) 様々な世代が交流できる多様な講座を開設していくためには、新たな取り組みが必要ではないか。</p> <p>(5) 今後に向けて、申し込みの簡素化や気軽に参加できるシステム構築も必要ではないか。</p>	教育長
	3 畜産農家の今後について	<p>国内で肉用牛の需要低下を受けて政府は米国への輸出を強化したが、日米貿易協定に定められた基準数を超え、セーフガードを発動する事態に。国内で在庫が滞留し現在も取引価格が下落している。</p> <p>(1) 飼料価格の高騰や子牛セリ価格の低迷で数年前に比べて経費が上がり、収入が大幅に減少している。そのため、臨時交付金を活用し経営安定や負担軽減につながるように早急に対応すると前回の定例会で述べた。しかし、一時的な対応では根本的な問題解決にはならないのではないか。</p> <p>(2) 現在、日本での国内生産の割合は約35%、外国からの輸入は約65%。この現状を踏まえると、以前のようなセリ価格に戻るのは非常に厳しいと考えるが、地域ごとの実情が国の施策に反映されるように県に要望書等を提出し危機的状況を伝えていくことは必要ではないか。</p>	町 長

令和5年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
倉橋 博都 議 員	1 町内のゴミステーションについて	(1) 町内のゴミステーションのゴミ箱が、風呂桶や、ドラム缶が使用されている。また、ゴミ箱がないところもあるが、町全体で同じ作りに出来ないか。	町 長
	2 志戸桶地区の町営住宅について	(1) 湾及び中里に町営住宅は出来ているが、志戸桶地区に町営住宅は出来ないか。	町 長
野間 弘也 議 員	1 クリーンセンター運営について	<p>(1) クリーンセンター運営については、令和6年度から民間委託を行うとしている。民間委託に至る経緯、目的について町長の見解を伺う。</p> <p>① 民間委託に向けての事業者への周知、公募方法、業者の選定に至るまでの経緯を時系列に伺う。</p> <p>② 民間委託に伴いクリーンセンター運営予算の動向について伺う。</p> <p>(2) 循環型社会形成の観点から、汚泥、剪定木、生ごみを活用した堆肥センター建設を検討されているが、生ごみの分別、回収などについて検討しているのか。町長の見解を伺う。</p>	町 長
	2 畜産農家支援について	(1) 子牛のセリ価格は低迷が続いており、直近の本町の平均セリ価格は35万円代となり、畜産農家の経営は大変厳しい状況となっている。本町も町独自の支援を行っているが、長期化が懸念される状況もあるなか先を見据えた支援が必要と考えるが町長の見解を伺う。	町 長